

Touch-B.R.A.I.N.

Touch-Blitz Reflash and Advanced Information Network

INSTALLATION MANUAL

VOL. 3

- (注意 1) 本製品は製品改良のため予告なく本体ソフトウェアをバージョンUPすることがございます。そのため本書と製品の内容が若干異なる場合があります。本文中の画面表示及び数値は説明用に加工している場合があります。本文中の説明は本体を英語表記設定にした場合を基準に製作しております。
- (注意 2) 本書は製品製造時の情報をもとに製作されております。取り付け作業に入る前に必ず最新情報を弊社ホームページ (<http://www.blitz.co.jp>) にてご確認ください。
- (注意 3) 弊社ホームページ (<http://www.blitz.co.jp>) にて公開している車種別適合表の車両情報と、取り付け車両が一致していても稀に本製品が正常動作しない場合（通信しない、項目が表示されない等）があります。
本書をもとに本製品を仮装着していただき、正常動作確認後に固定取り付けしていただくようお願い致します。
- (注意 4) 本製品はエンジンECU制御情報をモニタリングする装置です。そのため、本製品と車両のメーターの指示値に誤差が生じる場合がありますが故障ではありません。
また、本製品はノーマル車両を前提に製作されております。よって、エンジンECUに擬似信号を送信する部品を併用したり、改造が施されたECU搭載車両に本製品を接続すると、本製品が異常値を示したり、故障の原因となりますのでお止めください。

The logo for BLITZ, featuring the word "BLITZ" in a bold, italicized, sans-serif font. A stylized lightning bolt is integrated into the letter "I".

目次	P 1
パーツリスト	P 2
注意事項 1	P 3
注意事項 2	P 4
製品特徴	P 5
取付方法 1	P 6
取付方法 2	P 7
取付方法 3	P 8
画面説明 1	P 9
画面説明 2	P 10
画面説明 3	P 11
画面説明 4	P 12
画面説明 5	P 13
画面説明 6	P 14
画面説明 7	P 15
故障診断機能	P 16
設定画面 1	P 17
設定画面 2	P 18
設定画面 3	P 19
設定画面 4	P 20
設定画面 5	P 21
MEMO 1	P 22
MEMO 2	P 23
MEMO 3	P 24
故障と思う前に	P 25
カスタマー登録と製品の保証について	P 26
お問い合わせ先	P 26

パーツリスト

※サイズはおおよその値を記載してあります。また予告なくサイズ/仕様変更する場合があります。

 <p>※本体サイズ：130×75×15mm ※ハーネス長：1500mm</p>		 <p>※ハーネス長：500mm</p>		 <p>※ハーネス長：1500mm</p>	
本体	1	メインハーネス	1	シガープラグ	1
					
取付スタンド	1	アタッチメント（テープ付）	1	台座プレート（テープ付）	1
					
ストラップ	1	タイラップSET	1	保証書	1
					
取扱説明書	1				

注意事項 1

■製品を安全にご使用いただくために『注意事項』を必ずお読みになり、よくご理解ください。

※本書は、本製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。

良くお読みになって、正しくお使いください。

※装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。

(表示項目の説明)



この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される差し迫った危険な状況を示します。



この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します。



この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します。



この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、物質損害を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します。



この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される差し迫った危険な状況を示します。

(換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。)

換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。

(本製品および付属品は確実に固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取り付けしないでください。)
運転に支障をきたし、事故の原因となります。

(車両/製品より異音/異臭等の異常が発生した場合、使用を中止し専門業者にて点検/整備を行ってください。)
修理等に関してはお客様ご自身で対処すると、怪我などの恐れがあり危険です。必ずプロの知識を持った専門業者へ依頼をしてください。

(本製品の装着により車両本来の性能が損なわれている場合は、専門業者にて点検/整備を行ってください。)
そのままの状態で行走を続けると、予期せぬトラブルを誘発するばかりではなく、事故を招く可能性があります。

(運転者は走行中に本製品の操作を行わないでください。)

事故の原因となる恐れがあり大変危険です。

(本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。)

事故・火災・感電・電装部品の破損、焼損の原因となります。

加工・分解・改造等の形跡が見られる場合、クレーム・修理の対象外にさせていただきます。

(エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。)

エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。

注意事項 2

警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します。

- (本製品は、車両電源がDC12V車で車体[ボディ]アースの車両専用です。)
DC24V又は12V・24V兼用車には使用しないでください。火災の原因となります。
- (バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。)
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- (高温になる場所や、水が直接かかる場所には、取り付けをしないでください。)
感電、火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- (本製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。)
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
使用しない配線などは、絶縁テープを巻くなどして必ず絶縁対策を行ってください。
- (コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。)
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。また、製品の故障の原因となります。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します。

- (本製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。)
取り付けには専門の知識と技術が必要です。間違った装着や使用方法により車両装備品及びエンジン破損につながる恐れがあります。
- (本製品は精密部品です。装着前に落下させたり装着時に無理な力を加えないでください。)
作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- (無線機器について)
レーダー探知機・リモコン等、無線電波を利用した装置の併用はおやめください。
電波の影響により、正常に動作しない場合があります。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、物質損害を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します。

- (定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。)
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件や環境などにより、耐久性が落ちる事があります。
- (取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。)
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- (ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。)
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。
- (本製品は純正車両を前提に企画されております。)
純正以外のパーツを取り付けている場合は、本製品が正常に作動しなかったり、本製品および車両に不具合が出たりする可能性があります。
- (本体を長時間高温になる場所に放置しないでください。)
60℃以上の高温もしくは0℃以下の低温状態に長時間さらしたり、急激な温度差の環境でのご使用はおやめください。故障の原因となります。
- (車載モニターについて)
車載モニターにより、本製品を接続することでTV映像が多少乱れる場合があります。本製品の異常ではありませんので、症状が発生した場合、本製品を使用しない時は車両の故障診断コネクタに接続している本製品のコネクタを外してください。

製品特徴

本製品は、故障診断コネクタ搭載車の、エンジンECU制御情報をモニタリングするマルチメーター（注1）です。以下に製品の特徴を記述致しますが、車種により対応していない機能もあります。弊社ホームページ(<http://www.blitz.co.jp>)にて公開している車種別適合表とあわせてご覧ください。

- ① 3.5インチTFTカラー液晶/タッチパネル機能搭載で、今までにない操作性と視認性を実現。
- ② 車両の故障診断コネクタへカプラーオンで簡単に取り付けができます。
- ③ 弊社ウェブサイトより最新プログラムをダウンロードすることで将来的なバージョンアップに対応。
- ④ 多彩なグラフィックを実現し、視認性を重視したレーシング表示モード、近未来的なデザインを取り込んだ3D表示モード、ECO運転を支援するECO表示モードから選択可能。
- ⑤ 走行データをロギングし、市販のUSBメモリもしくはmicroSD（注2）を使用することでロギングデータをパソコンで確認できるデータロガー機能（注3）を搭載。
専用PCケーブル（注4）を使用すればリアルタイムロギングも可能。
- ⑥ エンジンECUのデータをチューニングプログラムに書き換えられるReflash機能搭載。
チューニングプログラム入りのmicroSD（注5）を本製品に挿入し、Reflash機能を実行すれば即チューニングECUに生まれかわります。もちろんノーマルデータを保存しておけばノーマル復帰も可能です。
- ⑦ 本製品にジャンクションボックス（注4）経由で専用センサー（注4）を接続することにより、エンジン制御情報だけではなく、実際のセンサー計測値を追加表示させることが可能。

（注1）表示項目に関しては、弊社ホームページ(<http://www.blitz.co.jp>)にて公開している車種別適合表に記載されております最新情報をご参照ください。

（注2）本製品と市販のUSBメモリ/microSDの相性により、本製品がUSBメモリ/microSDを認識できない場合があります。
動作確認のとれたUSBメモリ/microSDを順次、弊社ホームページにて公開致します。

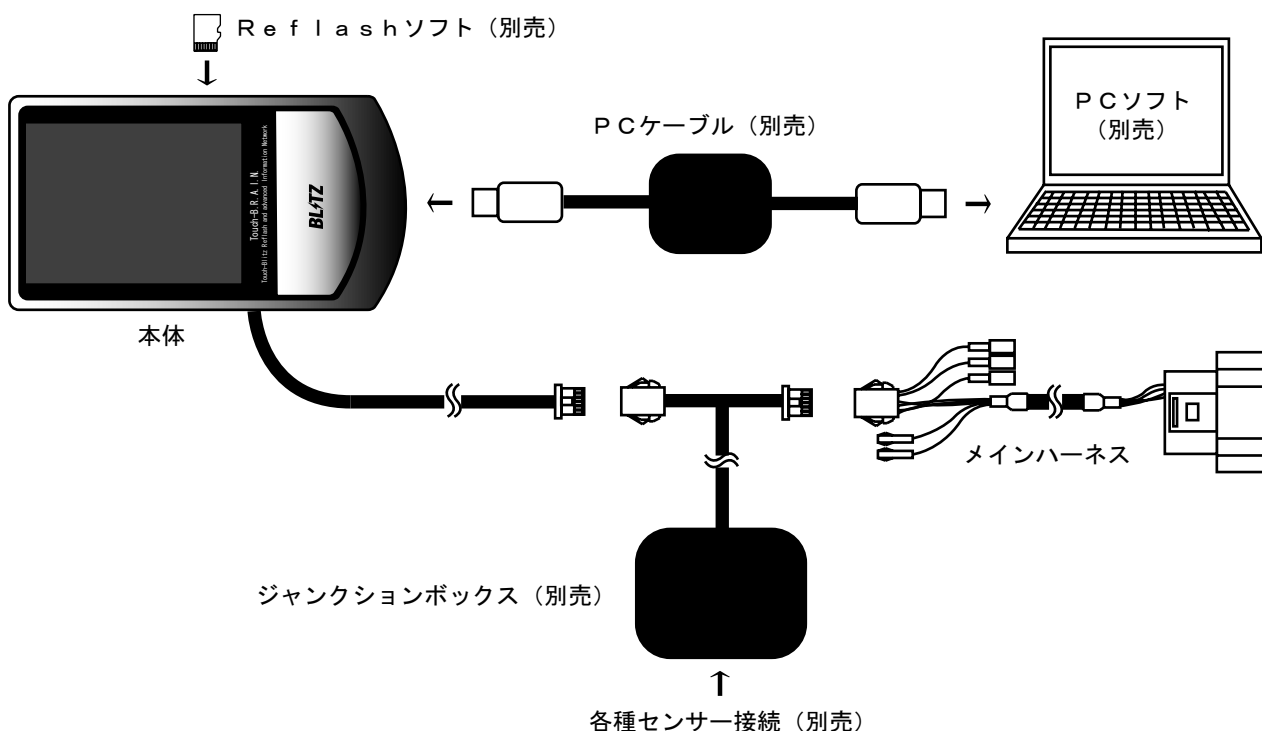
（注3）PCソフトは別売りになります。

（注4）別売りになります。

（注5）別売りになります。一部車種のみ対応。

※別売品に関する最新情報は弊社ホームページ(<http://www.blitz.co.jp>)にて公開しております。

※上記でご紹介しております別売品の中には、発売準備中の商品もございます。



取付方法 1



注意

コネクタ及びプラグ等は確実に接続してください。
不確実な場合、溶解する恐れがあります。

①図のように、ハーネスを接続してください。接触不良のないようにコネクタ同士を確実に接続し、付属のタイラップを使用してハーネスをまとめてください。

②起動信号供給方法について、以下をご参照ください。

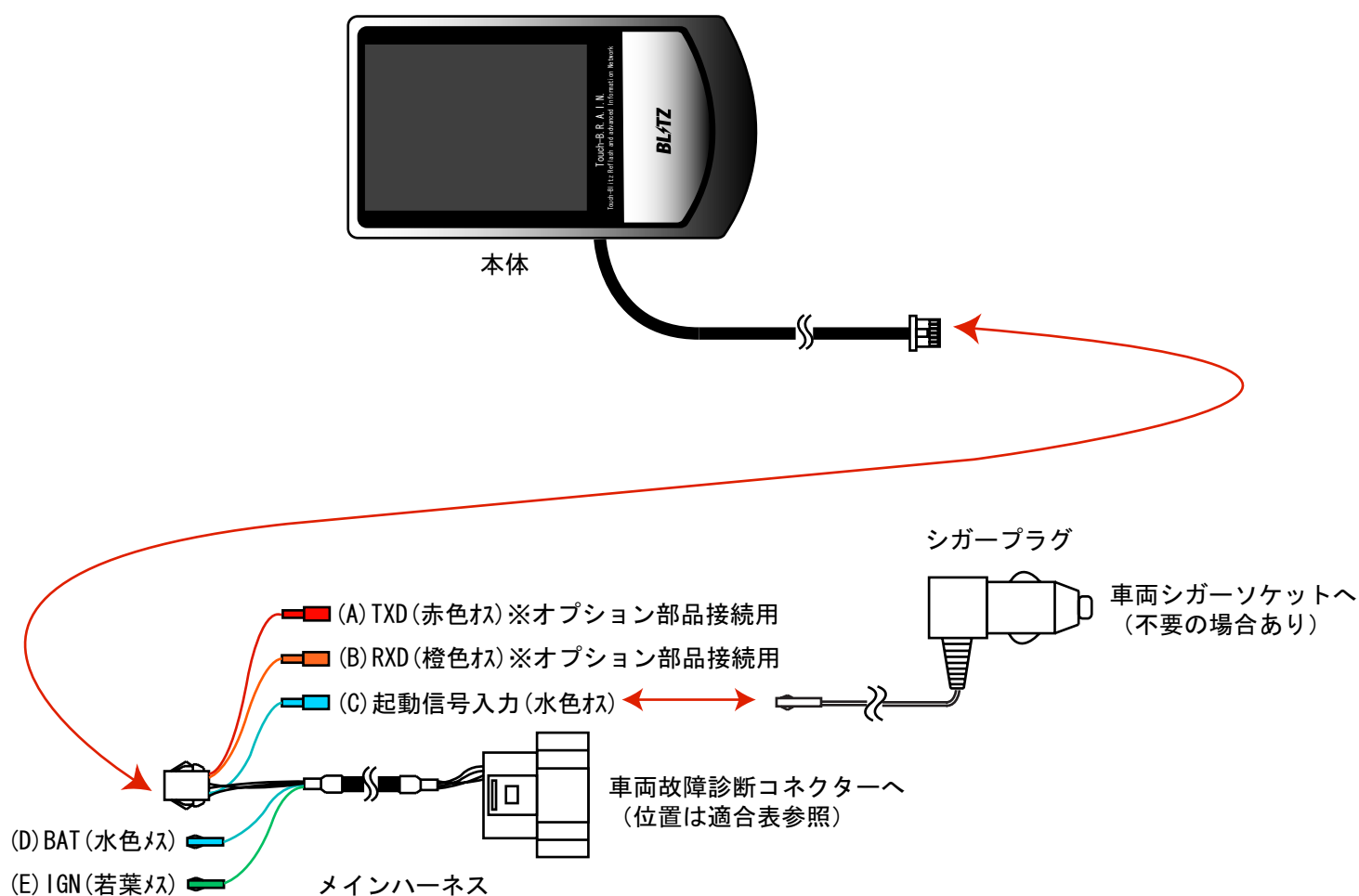
- (1) 車種別適合表で通信種別が**CANになっている車種の場合、メインハーネスの(C)と(D)を接続してください。ただし、以下の不具合が発生する車種は後述の(3)の方法でお取り付けください。

※車両がACC OFFの時に、車両のCAN通信に関係するシステム(キーレスシステム等)作動時に、本機も連動して起動してしまう、もしくは常に本機がシャットダウンしない。

※車両がIGN ONの時に、本機が車両との通信の初期化を繰り返し、通信が確立しない。

- (2) 日産車(OBDタイプ)及びスバル車の一部車種は、メインハーネスの(C)と(E)を接続することでIGN ONに連動して本機が起動します。連動しない車種は後述の(3)の方法でお取り付けください。

- (3) 上記(1)(2)に該当しない場合は、メインハーネスの(C)にシガープラグを接続してください。



取付方法 2

⚠ 注意

- ①本製品は、運転席の視界の妨げになる場所には、取り付けしないでください。
- ②本製品は、直射日光のあたる場所や、直接熱の影響を受ける場所には、取り付けしないでください。本体破損の恐れがあります。
- ③本製品は、周囲温度が60℃以上、0℃以下になる場所での使用及び保管はお止めください。液晶モニター表示/本体動作速度等に影響が出るだけでなく、本体破損の恐れがあります。ただし、その際の液晶モニター表示不具合に関しては一時的なもので、周囲温度が60℃以下、0℃以上になれば正常に戻る場合があります。
- ④本製品は、付属のスタンド及びストラップを必ず使用して車両へ確実に固定取り付けしてください。本製品が車両の衝撃等により飛び出すのを防止します。

③本体を付属のスタンドを使用して以下の手順で車両へ固定してください。

- (1) スタンド固定用の台座を付属の両面テープで取り付け位置に固定してください。
- (2) 台座の上にスタンドを取り付け、吸盤圧着レバーを押し下げてください。
(取り外す際は、吸盤圧着レバーの左右についているロック解除ボタンを引っ張るとレバーが引き上がります。その後、吸盤のつまみを持ちながら上方へ引き上げてください。無理矢理取り外すと、スタンドが破損する恐れがあります。)
- (3) スタンドの切りかきにあわせて、アタッチメントをスタンドへ取り付けてください。その際、アタッチメントが確実に固定できるように、切りかきの奥まで確実に押し込んでください。
- (4) 付属のストラップをスタンドに取り付けてください。
ストラップの一方はダッシュボード等の確実に固定でき、運転の支障にならない場所に結びつけてください。
- (5) アタッチメントに本体を両面テープで固定してください。
- (6) アームを上下させて高さ調整をし、アームロックをかけて固定してください。
- (7) 角度調整をし、本体が動かない程度に角度固定ナットを手で締め付けてください。その際、締めすぎにないようにご注意ください。スタンドが破損する恐れがあります。



取付方法 3

⚠ 注意

- ①USB及びmicroSDを本製品へ挿入する際は、挿入方向にご注意ください。
誤った向きに挿入すると、本製品及びUSB/microSDを破損する恐れがあります。
- ②本製品で使用するUSBメモリー及びmicroSDへは本製品用のデータ以外の保存はお止めください。
- ③市販のUSBメモリー及びmicroSDの中には、本製品で認識できないものもございます。弊社で動作確認のとれているものに関しては、弊社ホームページにて公開しておりますので、ご確認ください。

- ④USB及びmicroSDの挿入箇所及び挿入方向は写真のようになります。



(USB挿入箇所及び挿入方向)



(microSD挿入箇所及び挿入方向)

画面説明 1



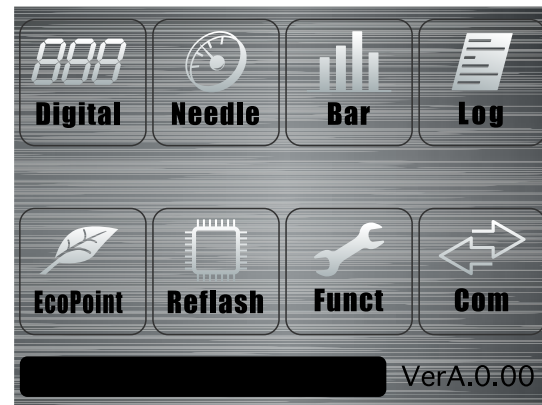
注意

タッチパネルを強く押しすぎると液晶モニター破損の原因となりますのでお止めください。

本製品は、タッチパネルを採用しているため、操作は全て液晶モニターをタッチすることで行います。画面構成としては、各画面へ移項するための窓口となっているアイコンメニュー画面、ポップアップ画面、メーター画面の3構成となっております。

①アイコンメニュー画面

目的のアイコンにタッチすると各メニューへ移項します。



(Digital) デジタルメーター連数選択画面へ移項

(Needle) ニードルメーター連数選択画面へ移項

(Bar) バーグラフ連数選択画面へ移項

(Log) ロギングメーター連数選択画面へ移項

(EcoPoint) エコポイント画面へ移項

(Reflash) Reflash設定画面へ移項

(Funct) 各種設定画面へ移項

(Com) 故障診断機能/PC通信設定画面へ移項

※Reflash及びPC通信設定画面に関しましては各商品取扱説明書をご覧ください。

②ポップアップ画面

ポップアップ画面は設定/表示変更操作の際に、画面の一部に表示される画面です。

目的の項目にタッチすると各項目へ移項します。

設定/表示変更操作内容により表示画面は異なります。

Base Funct

Car Funct

Mileage Funct

Moni Funct

Reset

Demo Mode (ON/OFF)

③メーター画面

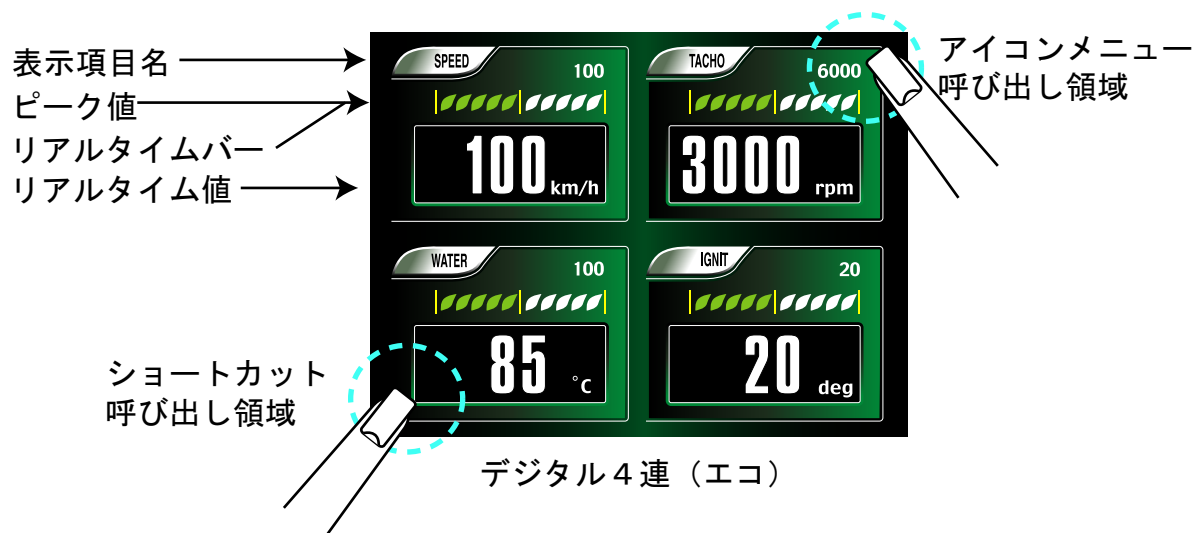
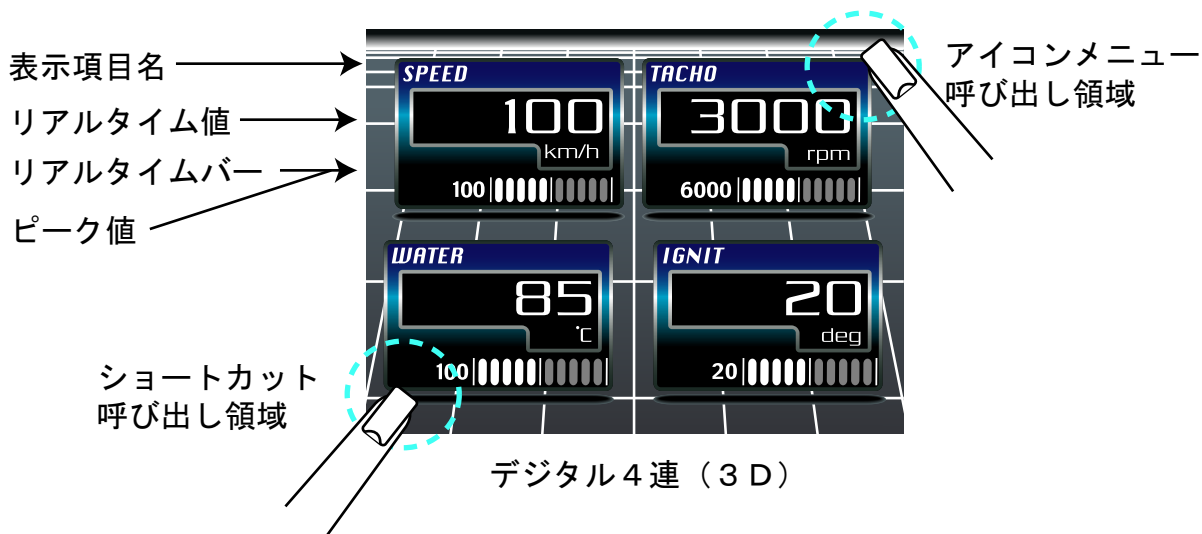
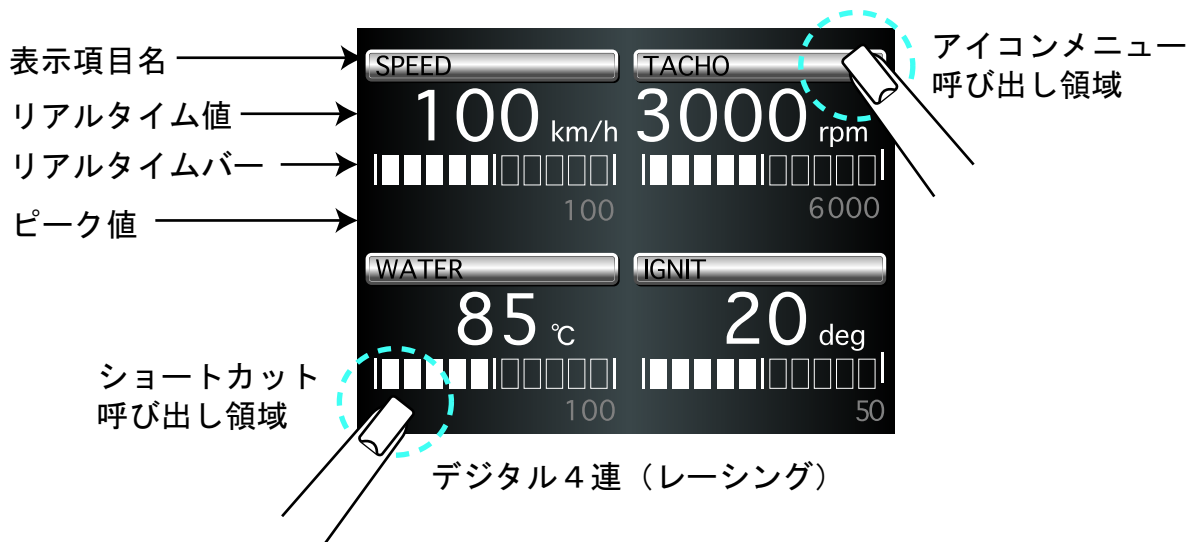
メーター画面にはデジタル/ニードル/バー/ログ/エコポイントの各画面に加えて、表示デザインの異なる3種のモードがあります。さらに表示方向を縦/横（左右）に変更できるため表示画面は合計で56通りになります。

	Racing		3D		Eco	
	横	縦	横	縦	横	縦
Digital	8連	8連	8連	8連	8連	8連
	6連	6連	6連	6連	6連	6連
	4連	4連	4連	4連	4連	4連
Needle	4連	4連	2連	2連	4連	4連
	2連	2連	1連	1連	2連	2連
Bar	4連	4連	4連	4連	4連	4連
	3連	3連	3連	3連	3連	3連
	2連	2連	2連	2連	2連	2連
Log	4連	4連	-	-	-	-
	3連	3連	-	-	-	-
	2連	2連	-	-	-	-
EcoPoint	-	-	-	-	EcoPoint	EcoPoint

画面説明 2

① デジタルメーター画面

レーシング/3D/エコの各モードの縦/横表示にそれぞれ8/6/4連のメーターを表示できます。
各表示項目名をタッチすると表示項目変更用ポップアップが表示され、
画面右上領域をタッチするとアイコンメニューが表示され、
画面左下領域をタッチするとショートカットポップアップが表示されます。

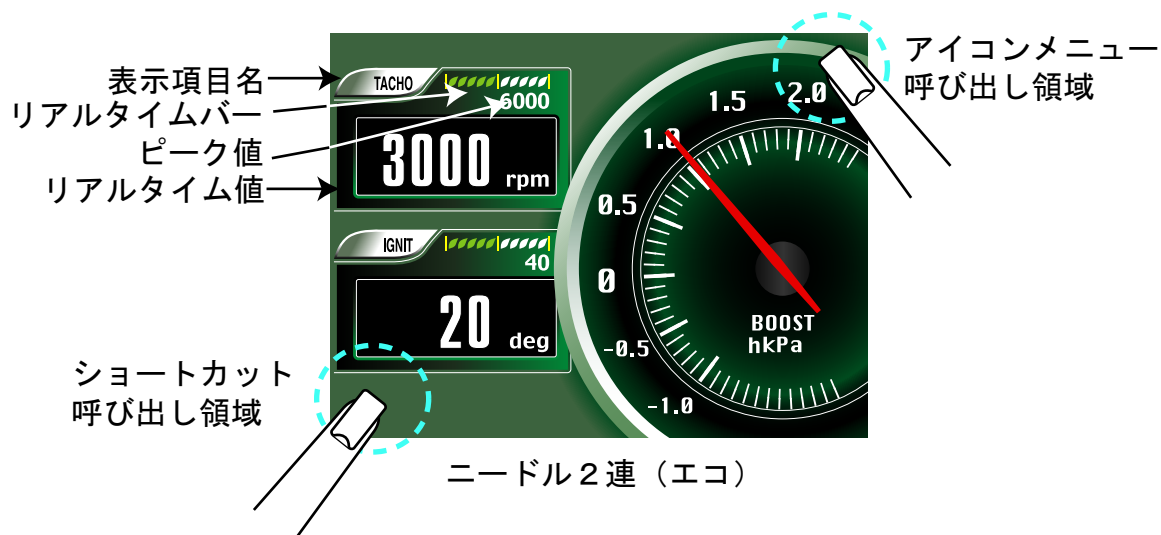
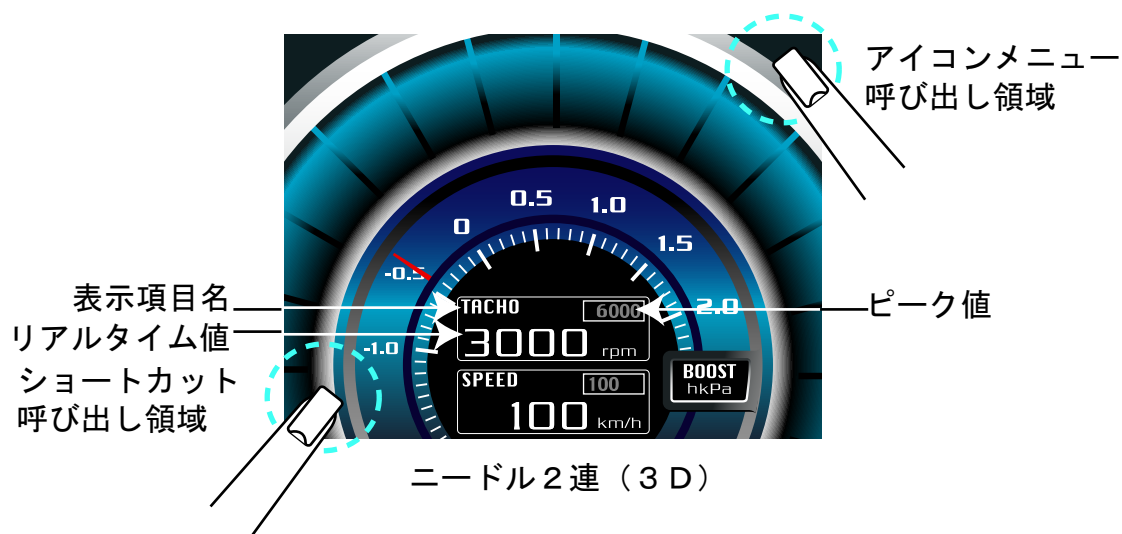
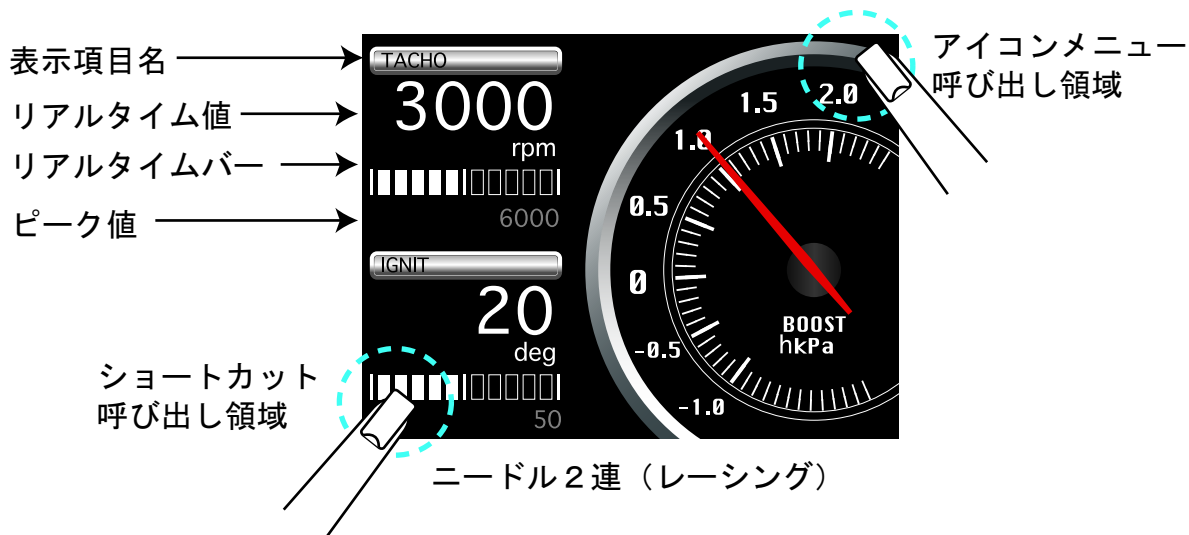


画面説明 3

① ニードルメーター画面

レーシング/3 D/エコの各モードの縦/横表示にそれぞれ4/2連（3 Dは2/1連）のメーターを表示できます。

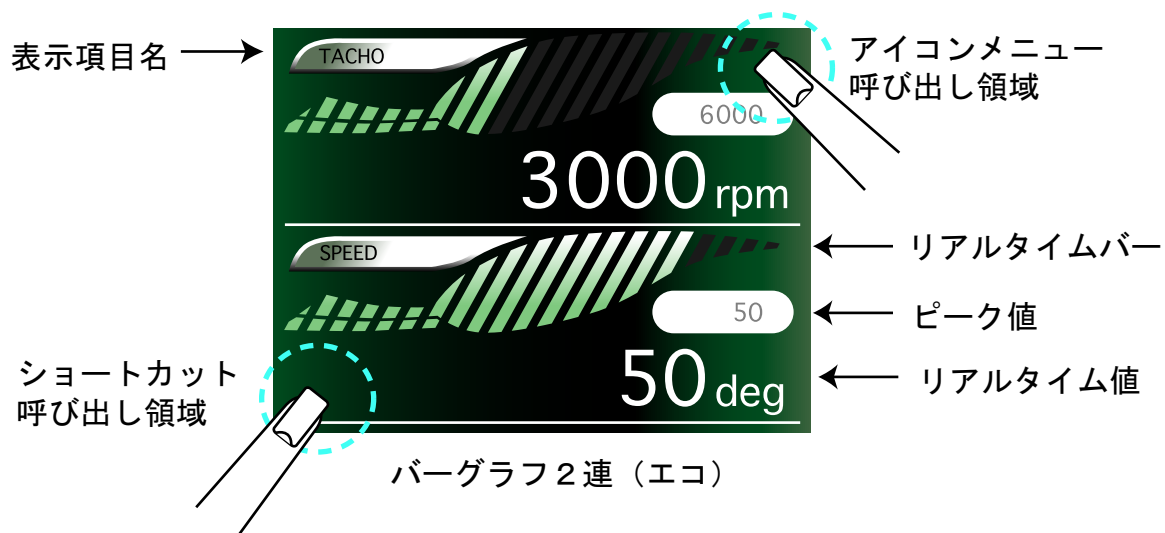
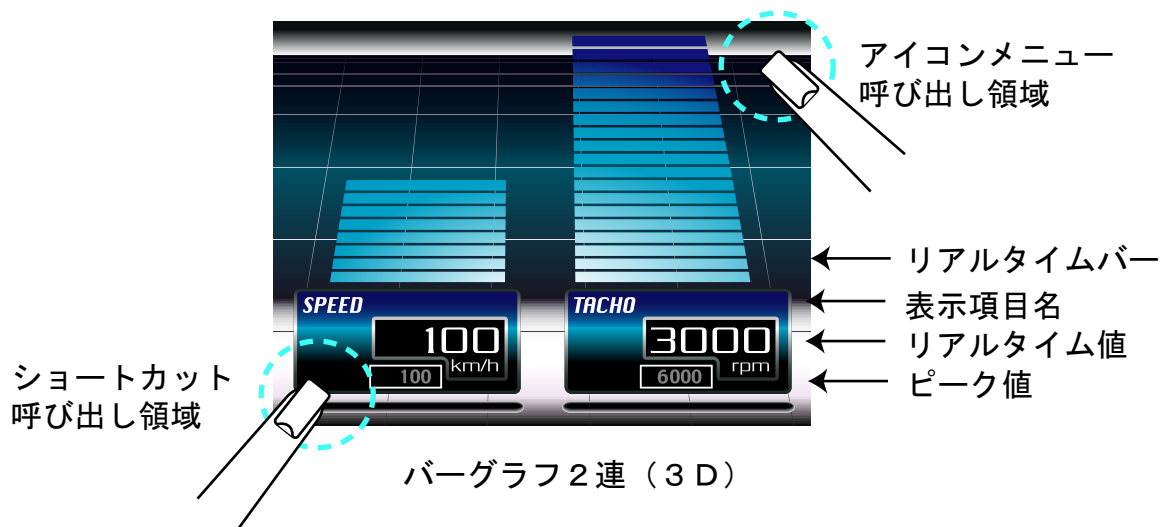
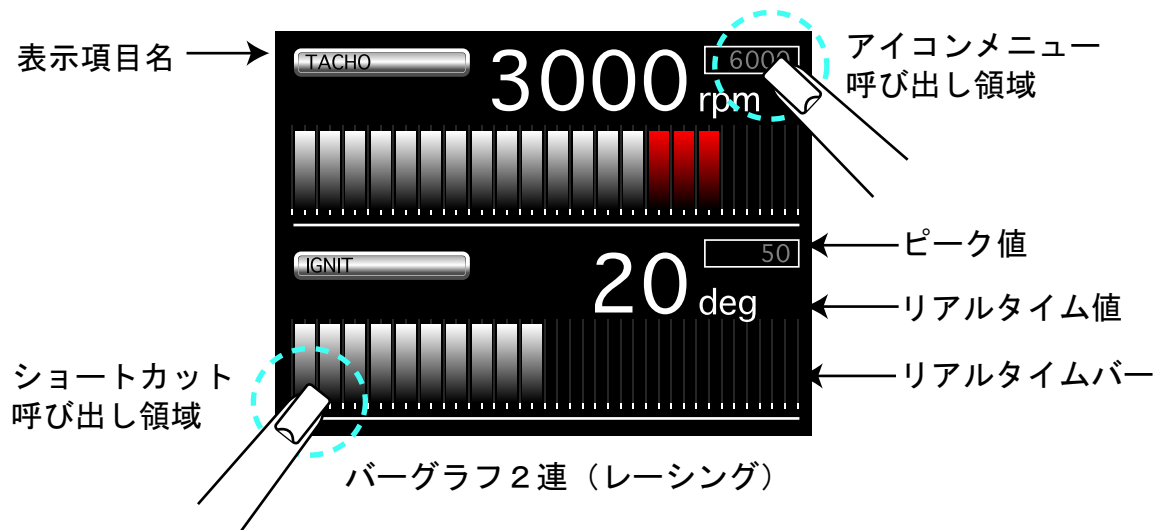
各表示項目名をタッチすると表示項目変更用ポップアップが表示され、画面右上領域をタッチするとアイコンメニューが表示され、画面左下領域をタッチするとショートカットポップアップが表示されます。



画面説明 4

①バーグラフ画面

レーシング/3D/エコの各モードの縦/横表示にそれぞれ4/3/2連のグラフを表示できます。
各表示項目名をタッチすると表示項目変更用ポップアップが表示され、
画面右上領域をタッチするとアイコンメニューが表示され、
画面左下領域をタッチするとショートカットポップアップが表示されます。



画面説明 5

① ロギング画面

レーシングモードの縦/横表示にそれぞれ4/3/2連のグラフを表示できます。
ただし、レーシングモード以外でもロギング画面を表示させることができます。

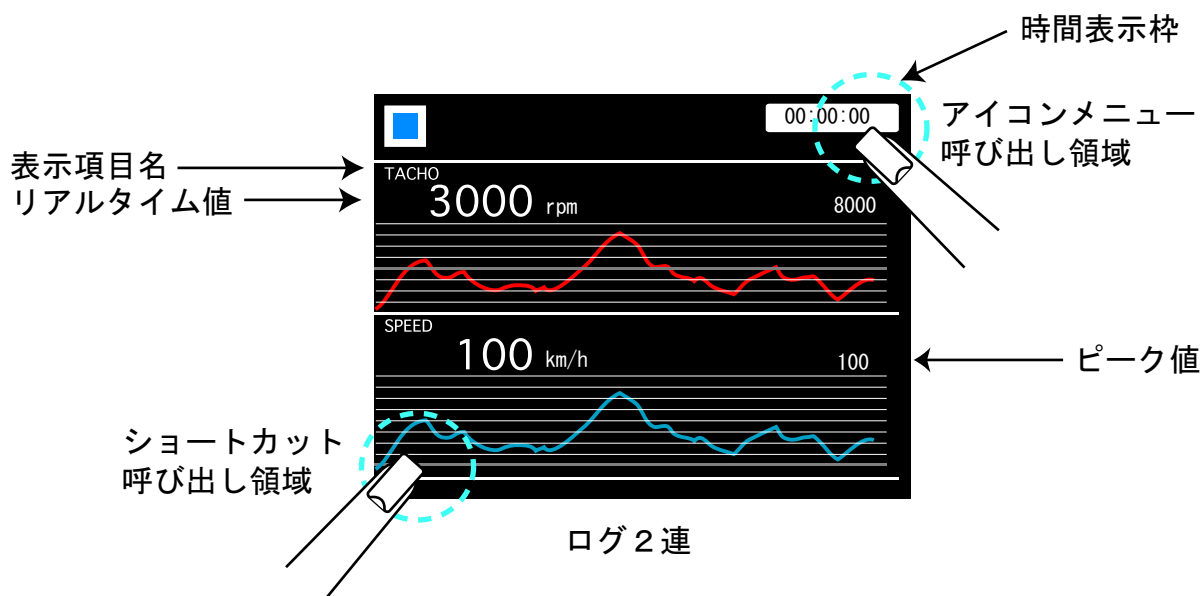
各表示項目名をタッチすると表示項目変更用ポップアップが表示され、
画面右上領域をタッチするとアイコンメニューが表示され、
画面左下領域をタッチするとショートカットポップアップが表示されます。


記録開始ボタンをタッチすると記録が開始され、記録停止ボタンをタッチすると記録を終了し、
保存先指定ポップアップが表示されます。ポップアップ枠外をタッチすると保存せずに終了します。
再生ボタンをタッチすると表示中のログデータを再生します。

記録中に画面中央領域をタッチすると、時間表示枠の経過時間表示が切り替わり
記録できる残り時間（目安）表示になります。赤枠表示時は経過時間表示で、
黄色枠表示時が残り時間表示になります。時間表示枠の単位は、
1時間未満の表示の場合は分/秒/ミリ秒で、1時間以上の表示の場合は時/分/秒になります。
計測可能時間は、計測項目内容/計測項目数/サンプリング時間等に左右されますが、
目安として20msecサンプリングの場合は30～40分程度、50msecの時は40分～50分程度、
100msecの時は50分～60分程度です。ファイルサイズも1～2M程度ですが、計測条件により
左右されます。

ロギング画面のショートカットポップアップのみ、以下の項目が追加で設けてあります。

- ① 記録機能のサンプリング時間変更項目（サンプリング→20/50/100ms）
- ② 本体に保存されたログデータ再生項目（本体ログ→再生）
- ③ 本体に保存されたログデータをUSBメモリにコピーする項目（本体ログ→コピー）
- ④ 本体に保存されたログデータをmicroSDにコピーする項目（本体ログ→コピー）
- ⑤ 最新計測ログデータの保存先指定項目（表示ログ）



- | | | |
|--|---|---|
|  記録開始/記録停止/再生終了ボタン |  再生ボタン |  再生一時停止ボタン |
|  再生速度UPボタン |  再生速度DOWNボタン | |
|  再生コマ送りボタン |  再生コマ戻しボタン | |

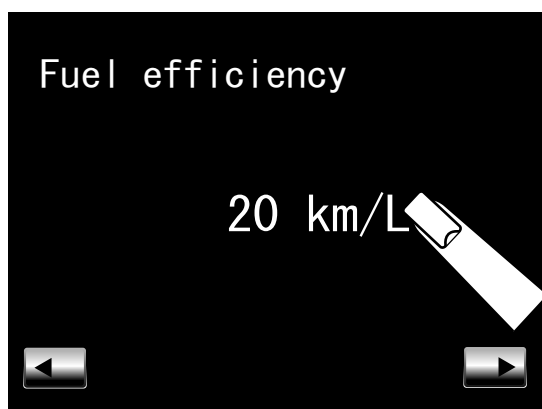
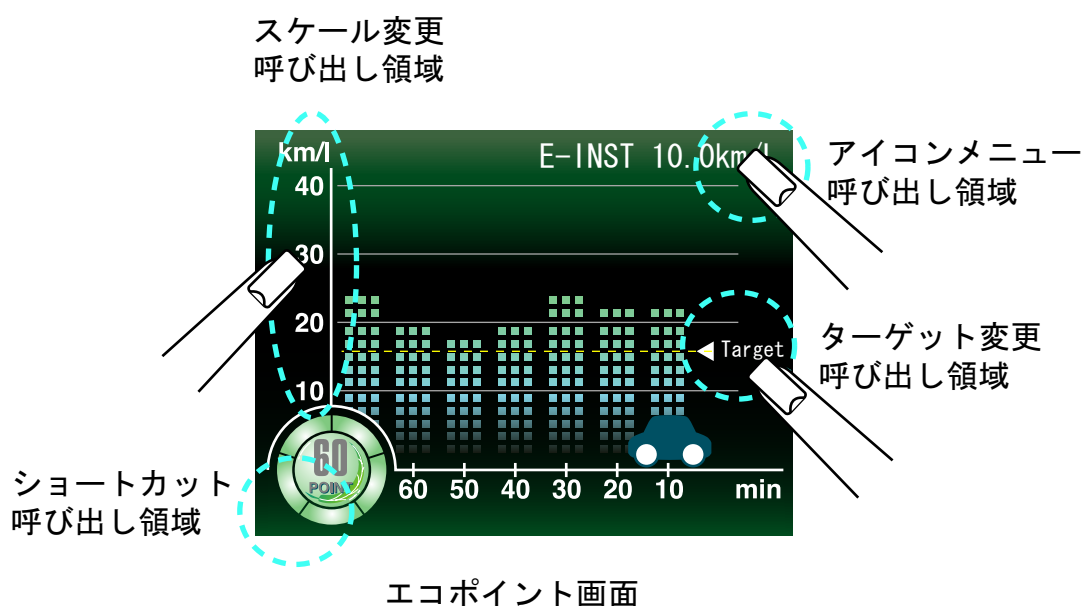
画面説明 6

①エコポイント画面

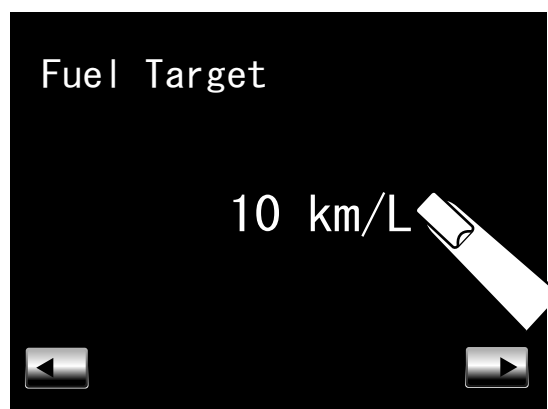
あらかじめ平均燃費の目標値を設定し、10分間ごとの平均燃費を目標値と比較して採点するエコ運転支援画面です。

(例) 目標平均燃費を10km/Lと設定し、常に燃費10km/L以上で60分間走行すればエコポイントは100になります。

画面右上領域をタッチするとアイコンメニューが表示され、画面左下領域をタッチするとショートカットポップアップが表示されます。グラフの縦軸付近をタッチすると表示スケール変更ポップアップが表示され、ターゲットライン付近をタッチすると、目標燃費変更ポップアップが表示されます。



表示スケール変更画面



目標燃費変更画面

画面説明 7

①ショートカットポップアップ

各メーター画面の左下部分をタッチすると使用頻度の高い設定変更項目へのショートカットポップアップが表示されます。

[MoniType]表示タイプ変更項目へのショートカット

[MeterRoutine]項目をタッチするとメーター種別変更ポップアップが表示されます。

[FoldSelection]連数選択画面へのショートカット

[Dimmer]項目をタッチすると減光モードのON/OFFができます。

[Lcd]項目をタッチすると液晶モニターの表示がOFFに

なります。再度モニターをタッチするとONになります。

[MileageFunc]燃費設定項目へのショートカット

[Reset]リセット項目へのショートカット。

※オールリセットは誤操作予防のためショートカット項目には設けておりません。

②項目変更ポップアップ

各メーター画面の表示項目名をタッチすると表示項目変更ポップアップが表示されます。

[ITEM]項目をタッチすると表示項目変更画面が表示されます。

[Warning]ワーニング設定へのショートカット

[Scale]スケール設定へのショートカット

[PeakReset]項目をタッチすると現在表示している項目のピーク値のみリセットができます。

③設定数値変更画面

各設定数値を変更する場合は、設定数値変更画面が表示されます。カーソルをタッチして数値を増減させて最後に数値をタッチして変更を確定してください。

④表示文字入力画面

各設定文字を変更する場合は、表示文字入力画面が表示されます。入力可能な文字数は5文字になります。

[カーソル]表示画面をスライドさせる時に使用します。

[ENTER]入力文字を確定させる場合に使用します。

[BS]入力文字を1文字消去する場合に使用します。

[END]入力文字を確定せずに終了する場合に使用します。

MoniType (Racing)

MeterRoutine

MeterNumber

Dimmer (OFF)

Lcd (ON)

ITEM (TACHO)

Warning

Scale

PeakReset

BackLight

100



故障診断機能

本機能は、故障診断コード/故障診断コード内容/故障診断数を表示/消去できる機能です。主にISO CAN通信採用車両で使うことができ、車種により、故障診断数表示機能のみ対応している場合や、本機能が使用できない場合があります。

故障診断コードに関しては、一部弊社ホームページ(<http://www.blitz.co.jp>)にて公開しております。

なお、本機能の車種別適合情報及び、故障診断内容に関するお問い合わせに関しましては、弊社では一切お受けできませんのでご了承ください。

[故障診断コード読み取り]

アイコンメニューのCom → Diag → ScanCode

の順に操作してください。その以下項目が表示されます。

DTC POPUPメッセージ	項目内容
DTC SUCCESS	故障診断項目読み込み成功
DTC SUCCESS NUM ONLY	故障診断数読み込み成功
DTC NOT CONNECTED	通信不可
DTC NOT IMPLEMENTED	故障診断機能非対応(ハードウェア非対応)
DTC NOT SUPPORTED	故障診断機能非対応(ソフトウェア非対応)
DTC CONDITION NOT CORRECT	車両状態が不適切(通信不可)
DTC TIMEOUT	タイムアウトエラー(故障診断機能非対応)
DTC ERROR GENERAL	その他のエラー(故障診断機能非対応)

[故障診断コードの表示(トラブルコード)]

故障診断コード読み取り実行後に、TroubleCodeをタッチすると、内容が表示されます。

※トラブルコードとは、ECUに記録されている故障コードのことになります。

[故障診断コードの表示(ペンディングコード)]

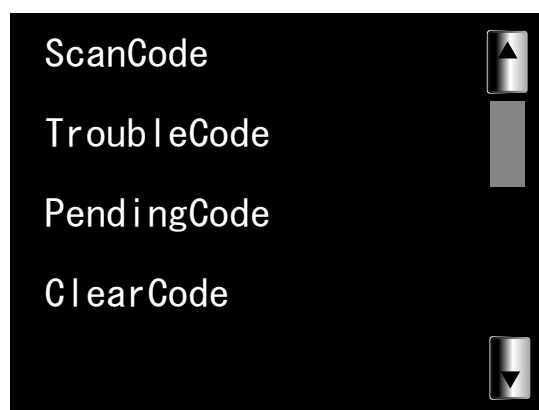
故障診断コード読み取り実行後に、PendingCodeをタッチすると、内容が表示されます。

※ペンディングコードとは、ECUに記録されている仮コード(待機エラーコード)のことになります。

[故障診断コード消去]

アイコンメニューのCom → Diag → ClearCode

の順に操作してください。その以下項目が表示されます。



設定画面 1



危険

設定変更は、自動車を停車させて安全な場所でおこなってください。
運転しながらの設定変更は大変危険ですのでお止めください。

アドバイス

本項目は、設定に関する全事項を記載しております。本製品の必要最低限の機能のみを使用する場合は、(1) (6) (7) (15) (16)のみ実行してください。

(1) [オールリセット]

アイコンメニューのFunct → Reset → ALLReset
の順に操作してください。
工場出荷状態に戻ります。

(2) [ピークリセット]

アイコンメニューのFunct → Reset → PeakReset
の順に操作してください。
全ピーク値がリセットされます。

(3) [エコポイントリセット]

アイコンメニューのFunct → Reset → EcoPointReset
の順に操作してください。
エコポイントがリセットされます。

(4) [燃費表示リセット]

アイコンメニューのFunct → Reset → MileageMoniReset
の順に操作してください。
走行距離/消費燃料/燃料代の表示がリセットされます。

(5) [燃費オールリセット]

アイコンメニューのFunct → Reset → MileageAllReset
の順に操作してください。
燃費表示補正值、及び
走行距離/消費燃料/燃料代/平均燃費/積算燃費の
表示がリセットされます。

(6) [表示言語設定]

アイコンメニューのFunct → BaseFunct → Language
の順に操作して、
日本語/ENG(英語)/TRD(繁体字)/SMP(簡体字)の中から
選択してください。
Languageという文字をタッチするごとに設定が切り替わります。

(7) [通信種別設定]

アイコンメニューのFunct → BaseFunct → ComTypeの順に
操作して、取付車両にあった通信種別を選択してください。
なお、通信種別に関しては、
弊社ホームページ(<http://www.blitz.co.jp>)にて
公開している車種別適合表とあわせてご覧ください。

(8) [基本単位設定]

アイコンメニューのFunct → BaseFunct → Unit → BaseUnit
の順に操作して、SI/USAの中から選択してください。
BaseUnitという文字をタッチするごとに設定が切り替わります。

(9) [馬力単位設定]

アイコンメニューのFunct → BaseFunct → Unit → PowerUnit
の順に操作して、PS/KWの中から選択してください。
PowerUnitという文字をタッチするごとに設定が切り替わります。

PeakReset

EcoPointReset

FuelReset

ALLReset

Language (ENG)

ComType

Unit

Warning

Buzzer (ON)

TOYOTA1

TOYOTA2

TOYOTA3

TOYOTA CAN

NISSAN

BaseUnit (SI)

PowerUnit (PS)

AirFlowUnit

ThrottleUnit

設定画面 2

(10) [エアフロ単位設定]

アイコンメニューの

Func → BaseFunc → Unit → AirflowUnit → Unit

の順に操作して、V/%の中から選択してください。

Unitという文字をタッチするごとに設定が切り替わります。

さらに%を選択した場合、

エアフロ電圧が何Vの時に0%及び100%なのかを設定してください。

最後に表示されている数値をタッチして設定を確定してください。

なお、エアフロ電圧の車種ごとの情報に関しては弊社では

お答えしかねますので、自動車メーカーへお問い合わせください

Unit (V)

0%Fit (0.00V)

100%Fit (5.00V)

(11) [スロットル単位設定]

アイコンメニューの

Func → BaseFunc → Unit → ThrottleUnit → Unit

の順に操作して、V/%の中から選択してください。

Unitという文字をタッチするごとに設定が切り替わります。

また、Throttleという文字をタッチして、

車両のスロットルタイプを設定してください。

アクセルを踏むと電圧が上がる車両はNormal、

アクセルを踏むと電圧が下がる車両はReverseとしてください。

さらに%を選択した場合、

スロットル電圧が何Vの時に0%及び100%なのかを設定してください。

最後に表示されている数値をタッチして設定を確定してください。

なお、スロットル電圧の車種ごとの情報に関しては弊社では

お答えしかねますので、自動車メーカーへお問い合わせください。

Unit (V)

Throttle (Normal)

0%Fit (0.00V)

100%Fit (5.00V)

(12) [ワーニング設定]

アイコンメニューのFunc → BaseFunc → Warning → ITEM

の順に操作して、ワーニング設定する項目を選択してください。

さらに、上限/下限の各ワーニングのON/OFF設定、

上限/下限の各ワーニング値を設定してください。

なお、希望のワーニング値を設定後、数値をタッチして設定を確定してください。

Language (ENG)

ComType

Unit

Warning

Buzzer (ON)

(13) [警告音設定]

アイコンメニューのFunc → BaseFunc → Buzzer

の順に操作して、ON/OFFの中から選択してください。

Buzzerという文字をタッチするごとに設定が切り替わります。

ただし、操作音設定をOFFにしている場合は、警告音も

OFFになります。

(14) [スケール設定]

アイコンメニューのFunc → BaseFunc → Scale

の順に操作して、スケール設定する項目を選択してください。

さらに、最大/最小の各数値を設定してください。

なお、希望の数値を設定後、数値をタッチして設定を

確定してください。

ITEM (TACHO)

MAX (8000rpm)

MIN (0rpm)

設定画面 3

(15) [車両重量設定]

アイコンメニューのFunct → CarFunct → Weightの順に操作して、取付車両の実車両重量を入力し、最後に数値をタッチして設定を確定してください。本設定は、馬力表示に関係しており、設定値が実際よりも小さいと馬力も少なく表示され逆に多いと馬力も多く表示されます。

Weight (1000KG)

Displacement (2000cc)

Loss (0%)

Gear

(16) [排気量設定]

アイコンメニューのFunct → CarFunct → Displacementの順に操作して、取付車両の排気量を入力し、最後に数値をタッチして設定を確定してください。本設定は、吸入空気量%の算出に使用します。

(17) [ロス設定]

アイコンメニューのFunct → CarFunct → Lossの順に操作して、取付車両のロス係数を入力し、最後に数値をタッチして設定を確定してください。本設定により、馬力表示に補正をかけることができます。馬力表示にズレがある場合に設定してください。通常は0%と設定してください。設定値を大きくすると馬力が多く表示され、設定値を小さくすると馬力が少なく表示されます。

Gear Type (AT)

LockUp (120km/h)

Gear# (4)

Gear1 (15km/h)

Gear2 (30km/h)

(18) [変速機タイプ設定] (CVT車両を除く)

アイコンメニューのFunct → CarFunct → Gear → GearTypeの順に操作して、取付車両の変速機タイプを選択してください。GearTypeという文字をタッチするごとに設定が切り替わります。さらに、Gear#という文字をタッチして変速ギヤ数を設定し、最後に数値をタッチして設定を確定してください。

(19) [ギヤ表示学習] (CVT車両を除く)

アイコンメニューのFunct → CarFunct → Gear → Gear 1 / 2 / 3 . . . の順に操作して、表の条件で走行した時の車速を入力してください。入力後、確定する場合は数値をタッチしてください。

※MT車では、シフトチェンジに時間がかかった場合などに、

一時的に異なるギヤを表示する場合があります。

※AT車では、トルクコンバーターの影響によりアクセルOFFに、

一時的に異なるギヤを表示する場合があります。

	ギヤ位置条件					走行条件
	AT			CVT	MT	
	O/D付	O/D無	MTモード付			
1速学習	L(O/D OFF)	1	1	－	1	加速中の2500rpm時の車速入力。数回実行し平均値を入力。
2速学習	2(O/D OFF)	2	2	－	2	加速中の2500rpm時の車速入力。数回実行し平均値を入力。
3速学習	D(O/D OFF)	3	3	－	3	加速中の2500rpm時の車速入力。数回実行し平均値を入力。
4速学習	D(O/D ON)	D	4	－	4	加速中の2500rpm時の車速入力。数回実行し平均値を入力。
以降のギヤも上記同様						

設定画面 4

(20) [ロックアップ表示学習] (ロックアップ機構搭載車のみ)
アイコンメニューのFunct → CarFunct → Gear → LockUp
の順に操作して、表の条件で走行した時の車速を入力して
ください。入力後、確定する場合は数値をタッチしてください。

※ロックアップとはエンジンと変速機の回転軸を直結状態にして
燃費向上を図る機能で、主にアクセル開度5%前後で
高速走行中に作動します。

Gear Type (AT)
LockUp (120km/h)
Gear# (4)
Gear1 (15km/h)
Gear2 (30km/h)

	ギヤ位置条件					走行条件
	AT			CVT	MT	
	O/D付	O/D無	MTモード付			
ロックアップ学習	D(O/D ON)	D	トップギヤ	-	-	2500rpm一定で走行し、一瞬回転数が落ち込んだ時の車速入力。

(21) [ガソリン単価設定]

アイコンメニューのFunct → MileageFunct → FuelUnitCost
の順に操作して、車両に給油したガソリンの単価を入力し
最後に数値をタッチして設定を確定してください。
本機能は表示項目の燃料代の算出に使用します。

※設定後、ガソリン単価に変動が発生した場合はその都度
設定を変更してください。なお、本製品の燃料代表示機能は、
変動前の単価より算出した燃料代に、変動後の単価より
算出した燃料代をプラスする方式を採用しております。

BaseFunct
CarFunct
MileageFunct
MoniFunct
Reset

(22) [燃費表示補正]

アイコンメニューのFunct → MileageFunct の順に操作して燃費表示補正をおこなうことが
できます。補正 (2～3回程度繰り返し) をおこなうことで精度をより高めることができます。
さらに、距離のみもしくは燃料のみの補正もおこなうことができるので、
走行距離の表示誤差が発生した場合は距離のみ補正を、
消費燃料の表示誤差が発生した場合は燃料のみ補正をおこなってください。
実際の手順は下表のようになります。

※距離補正を実行すると走行距離の表示リセットも同時に実行されます。
※燃料補正を実行すると消費燃料/燃料代の表示リセットも同時に実行されます。

	距離/燃料補正	距離のみ補正	燃料のみ補正
1	満タン給油	車両のトリップメーターをクリア	満タン給油
2	車両のトリップメーターをクリア	100～200km程度走行	100～200km程度走行
3	100～200km程度走行	距離補正入力(走行距離入力)	満タン給油
4	満タン給油	-	燃料補正入力(給油量入力)
5	燃料補正入力(給油量入力)	-	-
6	距離補正入力(走行距離入力)	-	-

設定画面 5

(23) [表示タイプ設定]

アイコンメニューのFunct → MoniFunct → MoniType
の順に操作して、Racing/3D/Ecoの中から選択してください。
MoniTypeという文字をタッチするごとに設定が切り替わります。

(24) [表示数値色設定]

アイコンメニューのFunct → MoniFunct → FontColor
の順に操作して、赤/青/黄/緑/紫/白/橙/桃/灰/水
の中から選択してください。

(25) [ピーク数値色設定]

アイコンメニューのFunct → MoniFunct → PeakColor
の順に操作して、赤/青/黄/緑/紫/白/橙/桃/灰/水
の中から選択してください。

(26) [操作音設定]

アイコンメニューのFunct → MoniFunct → OperateSound
の順に操作して、ON/OFFの中から選択してください。
操作音という文字をタッチするごとに設定が切り替わります。

(27) [操作音量設定]

アイコンメニューのFunct → MoniFunct → SoundVolume
の順に操作して、操作音量の設定をしてください。
最後に表示されている数値をタッチして設定を
確定してください。

(28) [バックライト設定]

アイコンメニューのFunct → MoniFunct → BackLight
の順に操作して、バックライトの設定をしてください。
最後に表示されている数値をタッチして設定を
確定してください。
数値を小さくすると暗い方向に調整されます。

(29) [減光設定]

アイコンメニューのFunct → MoniFunct → Dimmer
の順に操作して、減光の設定をしてください。
最後に表示されている数値をタッチして設定を
確定してください。
数値を小さくすると減光量が大きくなります。

(30) [表示方向設定]

アイコンメニューのFunct → MoniFunct → LcdDirection
の順に操作して、右/左/縦の中から選択してください。
表示方向という文字をタッチするごとに設定が切り替わります。

(31) [デモモード設定]

アイコンメニューのFunct → DemoModeの順に操作して、
ON/OFFの中から選択してください。
DemoModeという文字をタッチするごとに設定が切り替わります。

MoniType (Racing)

FontColor

PeakColor

OperateSound (ON)

SoundVolume (80)

BackLight (100)

Dimmer (20)

LcdDirection (RIG)

CarFunct

MileageFunct

MoniFunct

Reset

DemoMode (ON)

故障と思う前に

本製品が正常に動作しない場合には、一旦本体リセットをおこなった後に、下記を参考に再度症状の確認と不具合の修復を試みてください。

症状	原因	対処方法
本体がON しない。 本体がOFF しない。 本体がON/OFF を繰り返す。 通信エラーになる。	本体ハーネス/メインハーネスの接続不良。	本体ハーネス/メインハーネスのコネクターを確実に接続してください。
	本体起動信号供給不良。	当不具合が発生した全ての車両はシガープラグを使用する接続方法に変更してください。
	初期設定不良。	本書の初期設定のページ及び車種別適合表をもとに、通信方式 (Car Type) の設定を再度おこなってください。
	接続車両が適合外車両である。	最新の車種別適合表を弊社ホームページにてご確認ください。
純正メーターとの誤差がある。	本製品は純正 ECU のエンジン制御用情報を表示しているため。	比較対象の純正メーターの状態、仕様などにより多少の誤差は発生しますが、本製品の故障ではありません。
車速が、一定以上表示されない。 (例えば 180 km/h 以上表示されない。)	本製品は純正 ECU のエンジン制御用情報を表示しているため。	本製品はノーマル車両を前提に開発されております。また、純正 ECU が認識している車速を表示しているため、ECU に擬似信号を送信してスピードリミッター機能を解除している場合などは、一定速度以上 (例えば 180 km/h 以上) 表示できない場合がありますが、本製品の故障ではありません。
車種別適合表に記載されている表示項目が表示できない。	初期設定不良。	本書の初期設定のページ及び車種別適合表をもとに、通信方式 (Car Type) の設定を再度おこなってください。
	車両仕様が変更。	年式などの違いにより、車両仕様が変更され、本製品の適合情報とは異なる場合があります。最新の車種別適合表を弊社ホームページにてご確認ください。
本体液晶が白っぽくなる。 本体液晶に縦ジマがある。 本体液晶が暗い。 本体液晶の表示が欠ける。 本体が高温になる。	画面設定不良。	本書の画面設定のページをもとに、バックライト/減光設定等を調整してください。
	本体固定位置不良。	本体は、直射日光の当る場所、高温になる場所、低温になる場所などを避けてください。

カスタマー登録と製品の保障について

この度はブリッツ製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品はカスタマー登録をおこなって頂くことにより、製品保障規定に則って
製品本体の修理をいたします。

(場合によって修理できない場合などは代替品での対応となります)

カスタマー登録は下記弊社WEB SITEより簡単に行えますのでご購入後速やかに
登録をお願いします。

【カスタマー登録】 <http://www.blitz.co.jp/touch-brain/>

※画面指示に従い登録を完了してください。

※登録の際には保証書に記載のシリアルナンバーが必要です。

オーナー様専用ページへは登録後メールにて発行されるIDにてログイン可能
となります。

尚、カスタマー登録をされない場合、添付保証書だけでは製品保障の対象とは
なりません。また、本体プログラムのバージョンアップなどのサポート等は一切
受けられませんのでご注意願います。また、登録後も添付保証書は検査/修理などの
際に必要になります。取扱説明書とともに大切に保管いただきますよう
お願いいたします。

お問い合わせ先

■お問い合わせ先

連絡先	B L I T Z サポートセンター
T E L	0 5 6 6 - 7 9 - 2 2 0 0
U R L	http://www.blitz.co.jp/touch-brain/

■発売元

発売元	株式会社 ブリッツ
所在地	〒202-0023 東京都西東京市新町4-7-6

BL⚡TZ
